

2 番	颯田季央 議員																					
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)																				
<p>1. 菱野団地再生計画から瀬戸市の未来の都市構想を考える</p> <p><b>【質問趣旨】</b></p> <p>これまで、第6次総合計画(6次総)に基づく施策に一定の成果があったとの答弁を受けてきたが、人口は推計値を下回り、日本国籍の方の社会減少や生産年齢人口の減少が継続している。また、直近では年間約1,000人規模で人口減少が進行しており、従来施策の延長だけでは、対応が難しい局面に入っていることが推察できる。</p> <p>日本の自治体での人口減少は、自然減(出生数減・死亡数増)と社会減(転出超過)の両方で進行するため、出生数向上に加え、若年層の転入促進と転出抑制を進めること(次ページへ)</p>	<p>(1) 第6次総合計画のこれまでの効果検証とこれからの計画について</p>	<p>①本市の人口の推移を見ると、6次総開始時の平成29年4月の13万298人から、令和8年4月には12万4,812人と5,486人の人口減少がみられる。令和6年度より減少幅は加速し、1年に約1,000人のペースで減少している。この結果について、どのように分析しているか伺う。</p> <p>②令和6年6月定例会で「6次総に基づく各種施策により、一定の効果が現れている」と答弁されたが、2年経過してその効果は薄まってきていると感じる。その原因をどう分析し、どう対応する予定か伺う。</p> <p>③人口減少を抑制するためには生産年齢人口の転入促進・転出抑制・出生数増加が必要であるが、以下参考資料に示す通り、年少人口と生産年齢人口は減少し、自然増減数も年々減少傾向である。また、社会増減数は大きな増減がないように見えるが、国籍別でみると日本国籍の方の社会増減数は減少傾向である。さらに、令和6年6月定例会で「外国籍の方の社会増は一時的な居住である可能性も考えられ、日本国籍の方の社会減が将来的な本市の人口減少につながるおそれがある」と答弁され、人口減少を抑制するための条件がそろっていないと推察できる。本市が生産年齢人口のうち、子育て世帯に居住地として選択されない原因をどのように分析しているか伺う。</p> <p>参考 年齢3区分別人口の推移及び構成比</p> <table border="0"> <tr> <td>平成29年4月</td> <td>年少人口 (0-14歳)</td> <td>1万6,669人</td> <td>生産年齢人口 (15-64歳)</td> <td>7万6,315人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>老年人口</td> <td>3万7,314人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和8年4月</td> <td>年少人口 (0-14歳)</td> <td>1万4,088人</td> <td>生産年齢人口 (15-64歳)</td> <td>7万2,555人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>老年人口</td> <td>3万8,169人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	平成29年4月	年少人口 (0-14歳)	1万6,669人	生産年齢人口 (15-64歳)	7万6,315人		老年人口	3万7,314人			令和8年4月	年少人口 (0-14歳)	1万4,088人	生産年齢人口 (15-64歳)	7万2,555人		老年人口	3万8,169人		
平成29年4月	年少人口 (0-14歳)	1万6,669人	生産年齢人口 (15-64歳)	7万6,315人																		
	老年人口	3万7,314人																				
令和8年4月	年少人口 (0-14歳)	1万4,088人	生産年齢人口 (15-64歳)	7万2,555人																		
	老年人口	3万8,169人																				

( 1 ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>が基本である。しかし、全国的な出生数減少の中では自治体単独での対応には限界があることから、多くの自治体において人口減少の主因が自然減に移っており、都市間による競争は避けられない状況である。「人を増やす政策」だけでなく、「住み続けられる条件整備」をセットで考え、人口が減少する中でどう生活圏を維持するかといった視点が重要である。</p> <p>そのような状況下において、本市の人口減少の大半を占める菱野団地では、生活環境の改善が進む一方、人口や若年層比率は菱野団地再生計画の目標値と大きく乖離している。</p> <p>(次ページへ)</p>		<p>参考 瀬戸市連区別・年齢別・男女別人口</p> <p>R5年4月 自然増減 868人減 (出生者数 699人、死亡者数 1,567人) 社会増減 250人増 (日本国籍 149人減、外国籍 399人増)</p> <p>R6年4月 自然増減 918人減 (出生者数 680人、死亡者数 1,598人) 社会増減 71人減 (日本国籍 337人減、外国籍 266人増)</p> <p>R7年4月 自然増減 1,061人減 (出生者数 611人、死亡者数 1,672人) 社会増減 79人減 (日本国籍 441人減、外国籍 362人増)</p> <p>R8年4月 自然増減 1,017人減 (出生者数は 576人、死亡者数が 1,593人) 社会増減 39人増 (日本国籍 272人減、外国籍 311人増)</p> <p>④小項目③で分析した原因を解決するために、今後何に取り組むべきと考えるか伺う。</p> <p>⑤本市の連区別人口の平成29年4月と令和8年4月を比較し、連区別で人口が増えた地域はどこで、どの程度増えたか、増加理由の分析も含め伺う。</p> <p>⑥今後人口増加の予想される地域はどこで、どの程度の増加を見込んでいるか伺う。</p> <p>⑦交通利便性を上げ、駅を中心としたまちづくりを行っていく必要があると考えられるが、駅を中心とした転入促進のための計画を立てているか、または、今後立てる予定があるか伺う。</p> <p>⑧計画を立てる場合、どこでどのようなことを行い、どのようなスケジュールで行うか、また、計画を立てない場合、駅を中心とした転入促進を放棄する理由を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>そして菱野団地は、人口減少、少子高齢化、空き住居、学校再編、多文化共生など、本市の将来課題が先行して現れている地域である。これは単に「政策を実施したかどうか」を評価する段階ではなく、「人口構造や都市構造として狙った成果が達成できているのか」、さらには「人口減少を前提とし、どの地域に人口を誘導し、生活圏やコミュニティをどう維持するのか」という都市経営の方向性そのものを再検証すべき段階にあることを示している。そこで本質問では、6次総の成果を検証するとともに、次期将来計画において、菱野団地再生を人口減少時代の都市再構築モデルとしてどのように設定していく予定か質問する。</p>	<p>(2) 菱野団地再生計画の今後と、本市の未来の都市構想について</p>	<p>⑨令和6年6月定例会において「瀬戸市人口ビジョンによる2035年の人口の推計値は、施策を講じない場合の推計人口で11万3,166人、施策による最大効果を目指した推計人口で12万1,946人とし、次期将来計画において、改めて人口推計を行い、目標値の設定についても検討する。」と答弁されたが、次期将来計画において、改めて人口推計を行った結果、目標値の設定を何人と想定しているか伺う。</p> <p>①平成29年4月と令和8年4月の菱野団地の人口を比較するとどれくらい減少し、その減少数は本市全体の減少数の何%を占めているか伺う。</p> <p>②瀬戸市立地適正化計画の第2章において、菱野団地は瀬戸口駅から菱野団地周辺にかけて居留意向に関係する都市施設等が集積していることが記載され、利便性が高い地域であることがわかる。平成29年11月に策定された菱野団地再生計画の成果指標の中でも、住みやすさは目標値を超えている。しかし、菱野団地再生計画では、令和10年に人口1万2,834人を目標値としていたが、令和8年4月の菱野団地の人口は9,805人であった。また、同時期の40歳未満の人口の割合は33.5%を目標値としていたが、令和7年度には24.6%と、どちらも目標値から大幅に乖離している。この状況をどのように受け止め、その原因分析と今後の対策を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>③令和7年3月定例会において、菱野団地内に居住可能な空き家は少ないけれど、愛知県が管理する集合住宅の空室が多いことも人口減少の一因であることを踏まえ、「愛知県住宅供給公社が管理する住宅について、大学生等への入居に関し規制の緩和をおこなってもらようよう交渉する」と答弁された。その後、調整がうまくいき、愛知県内2例目となる大学生の入居が決まったと報告を受けている。この取り組みにより菱野団地にどのような効果が得られることが期待され、本市はどのようなサポートを行っていく予定か伺う。</p> <p>④菱野団地において再生計画実施による様々な良い効果も見られはじめ、施設分離型小中一貫校のみつば小学校の開校を機に、教育環境の魅力をセールスポイントとした居住促進とコミュニティの醸成を目指していく段階と伺っている。今後、課題となっている都市整備と、教育・コミュニティに関わる再生計画を推し進めるには、全庁的に各課から人員を配置し課題を解決するためのプロジェクトチームが必要と考えるが見解を伺う。また、今後の再生計画を統括するリーダーはどの課から選出することが妥当か合わせて見解を伺う。</p> <p>⑤一方で、居住意向が高まっても、居住可能な宅地がない課題を解決しなければ、これまで同様人口減少の抑制にはつながらないと考えられる。令和7年3月定例会において「校区内の市有地や公共施設の統廃合等により、居住目的も含めた利活用の検討をしていく」と答弁されたが、具体的に校区内のどこを選定し、宅地不足へどのように対応されていく予定か伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>⑥菱野団地再生計画推進協議会の資料では、戸建て住宅の空き家率は令和7年度には2.2%となったものの全国平均と比べると極めて低い数値である。県営住宅・公社住宅のいわゆる賃貸系の住宅の空き家率は平成27年は23%であったが、令和7年に34%に上昇し、同時期の空き室は819室から1,151室へと増加している。県営住宅及び公社賃貸住宅の空き家率が大幅に上昇している現状について、令和7年12月11日の愛知県議会建設委員会の議事録には「県としては、市町村が再生方針を策定するに当たり、当該団地の状況や市町村からの要請等に応じて必要な支援をしっかりと行っていく。」「今後、瀬戸市が新たな計画を策定する場合には、市との調整が必要ではあるが、オブザーバーにとどまらず委員として参画するなど、積極的に関わっていきたい。」と記載されていた。この発言を受け本市としてどのように県と協力をして再生計画を進めていく方針か伺う。</p> <p>⑦市だけでは解決できない課題を解決できるチャンスであるため、早期に新たな計画作成を進めるタイミングとを感じるが新たな菱野団地再生計画の作成を行う予定はあるのか、また、その予定がないのであれば、その理由を伺う。</p> <p>⑧令和7年12月11日の愛知県議会建設委員会の議事録には「菱野団地の再生については、県営住宅の事業主体として三つの住宅の建て替えを進めていく中で、余剰地が発生すれば市に活用してもらえるとという関わり方もある。」と記載されていた。宅地不足による機会損失が生じている状況を打開できる可能性があるが、積極的に交渉を行う意向があるか、また、意向がなければ理由を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>⑨施設分離型小中一貫校の整備に伴い、旧原山小学校跡地はさくらんぼ学園の一時的な代替え地として活用を計画されている。令和8年5月2日には原山小学校閉校記念イベントが地域住民により開催され、卒業生をはじめ原山小学校に関わった人々により大いに賑わっていた。統合後の小学校跡地は、まちづくりにおいて学校がもともと地域の核であることから、地域コミュニティの拠点、地域再生の重要な資源となる。今後の旧原山小学校跡地の活用について地域住民からどのような要望が出され、どのように活用方法を決めていく予定か伺う。</p> <p>⑩令和7年3月定例会において瀬戸西高校や大小医療施設も立地する瀬戸口駅北側地域に、居住地と学校、駅をつなげる交通利便性の向上計画の必要性を指摘し、現在整備計画を検討中である。仮に菱野団地や施設分離型小中一貫校の校区での宅地確保、転入増加がかなった場合、瀬戸口駅の北側が対象地域になり、その整備は相乗効果も期待される。また、令和7年3月定例会において「北側への改札設置につきましては、技術的な設置が可能かも含め、鉄道事業者と協議する必要があると考えております。」と答弁された。現在の進捗状況を伺う。</p> <p>⑪令和7年3月定例会において、参考資料に提示しているバリアフリーに関する補助制度について提案し、「スキームを確立し、(瀬戸口駅)駅前空間について、市営駐車場や駅前広場用地を含め一体的な利活用を検討しており、生活支援施設の設置など、地域の方にとって利便性の高い駅前空間の整備に取り組んでいく。」と答弁されていた。バリアフリー化と北側の改札設置の検討について現在の進捗状況を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>参考</p> <p>国土交通省は、鉄道駅のバリアフリー化の推進を行う方針を示しており、地方における重点化対象事業として鉄道駅総合改善事業費補助の制度を用意しており、令和4年度からバリアフリー基本構想に位置づけられた駅は、国からの補助率が3分の1から2分の1へと引き上げとなった。</p> <p>⑫愛知県の名鉄岡崎公園前駅では、高架橋を建設しバリアフリーとエレベーターの設置を実施している。また、阪急電鉄春日野駅には狭いホームにもかかわらずエレベーターを設置している。これらの方法を参考に瀬戸口駅で実施する場合、どのようにしたら実現可能な工法となり、その場合の予算を伺う。</p> <p>⑬菱野団地は完成から50年以上が経過し、市内でも高齢化率がかなり高く、人口減少も深刻である。菱野団地は約1万人が住む地域であり、この地区が空洞化すると周辺の施設や駅に大きな影響を及ぼすことが予測されが、7年間の菱野団地再生計画の実施により、様々な好条件が整いつつある。本市の地域再生のカギとなるこの地域の新たな再生計画を、次期将来計画とどのように整合性をつける考えがあるか市長に伺う。</p> <p>⑭仮にその意向がある場合、どのような都市を創るイメージがあるか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。